

取組紹介

2

LWBの制度や風土を全て「ブランドブック」へ明文化。
社員と定期的に確認しLWBが根付いた会社へ

取組内容

- 「ブランドブック」には、LWBの各種制度や会社の方針や施策、コンプライアンス、活動計画等、会社関連のすべての内容が盛り込まれています。その具体例や活用事例をわかりやすく記載するとともに、その意図も細かく記載し、意図を十分理解したうえで活用してもらうようにしています。この1冊で、会社に関するあらゆる内容が確認できる虎の巻となっています。
- 「ブランドブック」の作成、変更については、社員からの意見や社長自らの意見をまとめ毎年見直しを行っています。その内容については研修や朝礼でフィードバックし、社員全員に浸透するよう徹底しています。
- 「ブランドブック」にある自己成長や会社方針の推進についての活動目標シートについては、年初に目標や活動計画を記入し、毎月その目標と活動にズレがないか確認し、自己成長と会社の成長を確認できるようにし、年度末には、社長との面談で年間の活動を再確認しています。

取組による効果

- 社員にとってわかりにくいフレックス制度や残業の仕組みや会社の労働時間に関する方針がわかりやすく記載されているため、理解が進み残業が大幅に減少しました。
- 会社に関する様々な事項が記載されているため、社員が会社生活で分からないことがあれば、常に「ブランドブック」で調べる癖がついています。
- 社員が、「ブランドブック」を身近に置き、目標と日々の行動を確認していくようになりました。
- 毎年の改定へ向け、社員が改善提案を積極的に考えるようになり、会社の運営に主体性を持って取り組むようになりました。



ライフ・ワーク・バランス

EXPO東京 2025

社員と共に創る、企業の未来



取組紹介

3

エンゲージメントアンケートや全社員との
1on1で意見を集約、制度づくりや研修へ反映

取組内容

- 半期ごと年2回、ライフ・ワーク・バランスを含む社員のエンゲージメントについて、5段階評価と自由意見記載のアンケート方式で意見聴取を行っています。
- 全社員対象に、部署を超えた任意の社員との「全社員1on1」を実施し、社員間のコミュニケーションを活性化しています。
- 社内副業制度により、各種社内委員会等への積極的参加を促しており、「コンプライアンス推進」、「ハラスメント防止」、「ストレスケア」等、職場改善のための活動を行っています。
- これらの活動から、毎月5枚、共に働く仲間への感謝の気持ちを伝える手段として「サンクスカード」を渡す制度や、毎月第2金曜日の18時から、1か月共に頑張った仲間と苦労を労い、感謝する場を設ける「サンクスフライデー」の開催が実現しています。
- 毎月の朝礼や毎月全社員参加の研修により理解を深めています。

取組による効果

- エンゲージメントアンケートの内容や各種委員会での意見をもとに、課題の確認や施策の検討を進めることができ、企画の内容が深まり制度づくりへ反映されています。
- 「全社員1on1」では、普段深く接する機会のない社員との交流を深めることができ、部署を超えた協力が深まり仕事がやりやすくなり、負荷の手分けも可能になり業務の平準化が進みました。
- 各種委員会への全社員の参加により、社員の職場改善意識が高まってきています。
- 「サンクスカード」や「サンクスフライデー」により、社員間のコミュニケーションが増え組織の垣根を超えた相互支援が活性化しました。



株式会社ソウブン・ドットコム

多様な選択肢の提供と浸透でノー残業を目指す！
メリハリのある働き方を実現



株式会社ソウブン・ドットコム

多様な選択肢の提供と浸透でノー残業を目指す！
メリハリのある働き方を実現

会社概要

代表者名： 代表取締役 木村 崇義
創立(創業)：1956年(創業1939年)
所在地： 東京都荒川区西尾久7-12-16
TEL： 03-3893-0111
従業員数： 40名(うち正社員36名)
事業内容： 学術団体のバックオフィス業務全般のサポート
・学会事務局運営支援(会員管理・会費管理・会計報告書作成 等)
・学術大会運営支援(参加受付・演題受付・会場運営・宿泊手配 等)
・学会誌発行支援(編集・査読管理・印刷・オンラインジャーナル対応 等)
・学会ホームページ制作



目的・理念

学術支援と社会貢献を目指して一働きやすい環境が理念を形にする

当社は、「学術への貢献を通して社会を豊かにする」という企業理念を掲げています。学術団体向けの総合サービス企業として、研究者の方々が本来の研究活動に専念できる環境づくりを支援しています。この企業理念を実現するために、社員一人ひとりが自らの成長と学びを通じて社会に貢献できる環境が不可欠です。ライフ・ワーク・バランスの取り組みは、社員が安心して働き、自らの能力を最大限に発揮することを支えるための施策です。

経営者からのメッセージ

当社では、社員一人ひとりが自らの働き方を自由に選び、責任を持って業務に取り組む環境づくりを推進しています。こうした自由な働き方の選択は、社員の自立性や自主性を高めると同時に、当社のビジネスモデルに不可欠な“課題解決型”の姿勢やスキルを育むものです。社員が自ら考え、主体的に解決策を見出していくことで、当社が提供するサービスやサポートも、より高度で価値あるものに発展していくと確信しています。

また、少子高齢化や人口減少に伴う労働力不足は、今後の社会にとって大きな課題です。この社会的な変化に対応し、企業が持続的に発展していくためには、社員が安心して働ける環境やライフワークバランスの向上がますます重要になっています。当社は、この取り組みが社員一人ひとりの成長を支え、結果として社会全体の課題解決にもつながると考えています。



代表取締役 木村 崇義

取組の経緯・背景

当社が、ライフ・ワーク・バランス取り組みを始めたきっかけは、労働人口の減少や、高齢化、育児介護の問題など、労働環境に山積する社会課題に対して、企業が積極的に関与し課題解決に取り組むことが、企業の持続的な成長につながると考えたからです。ライフ・ワーク・バランスへの取り組みの開始にあたり、①社員の健康と幸福の向上②多様な働き方の実現③多様な人材の活躍④生産性の向上と業務効率化⑤企業の持続可能な成長、以上5つの点を目的とし実現へ向け取り組んできました。



従業員の声



- フレックス勤務とテレワークが整備され、柔軟な適用もあり、仕事の手を止めることなく通勤や帰省などの時間を家族との生活時間に充てることができ、仕事をイキイキと行える環境づくりが大切なのだと強く感じました。
- 社会・地域と関わりながら成長しようとする会社の姿勢とその努力がこのライフワークバランス向上の取組でよくわかります。定年まで当社で働きたいと思わせる会社を社員皆で作ってみたいです。
- フレックス制や定期的なエンゲージメントサーベイがあることで、会社の課題とすべきところや自分の課題も意識することができ、当社の強みを活かした多様な働きかたをより進めていきたいと考えています。

取組紹介

1

スーパーフレックスやハイブリッド勤務等の整備で勤務体制を弾力化! メリハリある働き方でノー残業を目指す

取組内容

- コアタイムなし、3か月清算方式のスーパーフレックス制度を全社員(パート、派遣社員等含む)に適用し、全社員が自身で業務時間をコントロールでき、社員それぞれのライフスタイルや生活環境等に柔軟に対応できる働き方を実現しています。
- フレックス制度の利用については、「ブランドブック」で運用ルールや具体的取得例を示し、わかりやすい内容で社員に理解してもらい、取得しやすいようにしています。
- テレワーク勤務を全社員に適用し、リアル出社とのハイブリッドも可能としています。理由・回数・時間制限は原則なく随時実施可能としています。就業場所をコントロールできるようにして、生活環境と業務遂行のバランスを社員が柔軟に調整できる体制にしています。テレワークは、BCP対策にも活用し有事の際の社員の雇用を守るようにしています。
- 育児や介護以外の理由でも家庭状況に応じて、時短勤務を個別に柔軟な適用を行っています。

取組による効果

- スーパーフレックス制度により、家族の急病や家庭事情にあわせ柔軟に対応できる働き方が実現しています。
- 長期間遠距離の親の介護が必要になった時にテレワークで業務との両立ができたケースや、育児や家庭環境により出社できない場合でも業務ができることで部の業務に支障が出なかったこともあります。
- 時短勤務適用者は現在3名おり、退職や休職に至らず、生活環境に対応しながら就業を続けています。

